

急速充電設備概要表

項 目		良	否
工 事 種 別	☐ 新設・ ☐ 増設・ ☐ 移設・ ☐ その他（ ）		
設 置 場 所（階）	☐ _____階 ・ ☐ 屋上 ・ ☐ 屋外		
全 出 力	_____kW（_____台） _____kW（_____台） _____kW（_____台） _____kW（_____台）		
消 火 設 備	☐ 消火器・ ☐ 大型消火器・ ☐ スプリンクラー・ ☐ 水噴霧・ ☐ CO ₂ ・ ☐ ハロン ☐ 粉 末・ ☐ IG55・ ☐ IG541・ ☐ 窒 素・ ☐ HFC227・ ☐ HFC23		
屋 外 設 置 の 場 合	☐ 離隔距離3m以上 ☐ 消防長が認める延焼を防止するための措置 ☐ その他（_____）		
設 備 概 要	筐体の素材 ☐ 不燃性の金属材料 ☐ その他 雨水等の浸入防止措置 ☐ IP33以上 ☐ その他（_____） 絶縁されていない場合、充電を開始させない措置 ☐ 有 ☐ 無 確実に接続されていない場合、充電が開始されない措置 ☐ 有 ☐ 無 電圧が印加されている場合、接続部が外れない措置 ☐ 有 ☐ 無 漏電、地絡及び制御機能の異常を検知し、停止させる措置 ☐ 有 ☐ 無 電圧及び電流を自動的に監視し、自動停止させる措置 ☐ 有 ☐ 無 異常な高温となった場合、自動停止させる措置 ☐ 有 ☐ 無 手動で緊急停止させることができる措置 ☐ 有 ☐ 無 コネクタの落下防止措置 ☐ 有 ☐ 無 充電用ケーブルを冷却する機構（液冷機構） ☐ 有 ☐ 無 冷却液が内部基盤等に影響を与えない構造 ☐ 有 ☐ 無 流量・温度異常検知及び停止措置 ☐ 有 ☐ 無 充電用ケーブル ☐ 1本 ☐ 複数（切替開閉器異常検知及び停止措置 ☐ 有 ☐ 無）		
耐 震 措 置	耐震クラス ☐ S・ ☐ A・ ☐ B アンカーボルト_____φ×_____本		
衝 突 防 止 措 置	☐ 有 ・ ☐ 無		
蓄 電 池 制 御	☐ 蓄電池なし ・ ☐ 蓄電池内蔵 バッテリーマネジメントシステム ☐ 有 ☐ 無 温度の異常検知及び停止措置 ☐ 有 ☐ 無 制御機能の異常検知及び停止措置 ☐ 有 ☐ 無		
認 証	☐ 有（認証機関名_____） ・ ☐ 無		
そ の 他	製造者名_____ 型式_____		

備考1 項目中、☐欄は該当するものに✓印を付し、下線部分には該当する内容を記入すること。

2 良否欄は、記入しないこと。

発 電 設 備 概 要 表

項 目		良	否
設 備 種 別	☐ 低圧発電 ・ ☐ 高圧発電		
工 事 種 別	☐ 新設 ・ ☐ 増設 ・ ☐ 移設 ・ ☐ その他 ()		
設 置 場 所 (階)	☐ _____ 階 (地下階はBを付けて入力) ・ ☐ 屋上 ・ ☐ 屋外		
電 圧	☐ 1 0 5 ・ ☐ 2 1 0 ・ ☐ 4 1 5 ・ ☐ その他 _____ V		
出 力	出力容量 _____ k V A × 力率 = _____ = _____ k W		
キュービクル該否	☐ キュービクル該当 ・ ☐ キュービクル非該当 (☐ 開放式 ・ ☐ エンクロージャー)		
非 常 電 源 該 否	☐ 非常電源該当 ・ ☐ 非常電源非該当		
熱 源 区 分	☐ 灯油 (軽油) ・ ☐ 重油 (特A重油含む) ・ ☐ その他の液体燃料 ☐ 都市ガス ・ ☐ L P ガス ・ ☐ その他の気体燃料		
消 火 設 備	☐ 消火器 ・ ☐ 大型消火器 ・ ☐ スプリンクラー ・ ☐ 水噴霧 ・ ☐ C O ₂ ・ ☐ ハロン ☐ 粉 末 ・ ☐ I G 55 ・ ☐ I G 541 ・ ☐ 窒 素 ・ ☐ H F C 227 ・ ☐ H F C 23		
保 守 管 理	☐ 非該当 ・ ☐ 自家 ・ ☐ 委託 ・ ☐ その他		
設 置 室	構造 壁 (☐ 耐 火 ・ ☐ 準耐火 ・ ☐ 不 燃) 天 井 (☐ 耐 火 ・ ☐ 準耐火 ・ ☐ 不 燃) 開口部 (☐ 防火戸 ・ ☐ 特定防火設備である防火戸) 換 気 { ☐ 自然換気 (☐ F D 付き) ☐ 機械換気 (ダクト ☐ F D 付き ・ ☐ 耐火被覆) } ケーブル等の貫通部 (☐ B C J 工法 ・ ☐ 不燃区画 ・ ☐ その他 _____) 面積 _____ m ²		
電 気 方 式	☐ 発電専用 ・ ☐ 発電 + 熱供給 ・ ☐ その他発電		
機 器 種 別	☐ ガソリン発電 ・ ☐ ディーゼル発電 ・ ☐ ガス発電 ☐ ガスタービン発電 ・ ☐ 燃料電池 ・ ☐ その他の発電		
設 備 概 要	型式番号 _____ 冷却水のタンク容量 _____ ℓ 運転可能時間 _____ 時間 燃料タンク容量 (メインタンク _____ ℓ + サービスタンク _____ ℓ) 1 時間あたりの燃料消費量 _____ ℓ 運転可能時間 _____ 時間 始動方式 ☐ 蓄電池設備方式 (☐ 制御用蓄電池の消防庁告示適合の有無 ☐ 有 ・ ☐ 無) ☐ 空気始動 始動用不足電圧継電器の位置 ☐ 主遮断機の 2 次側 ・ ☐ 防災用低圧変圧器の 2 次側 ☐ その他 _____ 燃料電池の種別 ☐ リン酸型 ・ ☐ 熔融炭酸塩類型 ・ ☐ 固体電解質型 ・ ☐ 固体高分子型 コージェネレーション ☐ 有 ・ ☐ 無 運転形態 ☐ 系統独立運転 ・ ☐ 系統連携運転 安全対策 ☐ ガス検知器 (☐ 燃料停止 ・ ☐ 発電停止 ・ ☐ 緊急遮断弁) 容量計算書の添付 ☐ 有 ・ ☐ 無		
耐 震 措 置	耐震クラス ☐ S ・ ☐ A ・ ☐ B アンカーボルト _____ φ × _____ 本		
中 央 監 視 室	☐ 設置有 ・ ☐ 設置無		
そ の 他	非常電源の認定番号 _____ 製造者名 _____		

- 備考 1 項目□欄は、該当するものを✓印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。
- 2 良否欄は、記入しないこと。
- 3 条例第 1 2 条の区画ごとに作成すること。

変電設備概要表

項 目		良	否
設 備 種 別	☐ 高压変電・ ☐ 特別高压変電・ ☐ 低压受電・ ☐ 借用変電		
工 事 種 別	☐ 新設・ ☐ 増設・ ☐ 移設・ ☐ その他（ ）		
設 置 場 所（階）	☐ _____ 階（地下階はBを付けて入力） ・ ☐ 屋上 ・ ☐ 屋外		
電 圧	☐ 6,600 ・ ☐ 22,000 ・ ☐ 66,000 ・ ☐ その他 _____ V		
出 力	_____ k V A × (☐ 0.8、 ☐ 0.75、 ☐ 0.7) = _____ k W		
キュービクル該否	☐ キュービクル該当 ・ ☐ キュービクル非該当 (☐ 開放式・ ☐ 閉鎖式)		
非 常 電 源 該 否	☐ 該当 (非常電源専用受電設備) ・ ☐ 非該当 (一般変電)		
消 火 設 備	☐ 消火器・ ☐ 大型消火器・ ☐ スプリンクラー・ ☐ 水噴霧・ ☐ CO ₂ ・ ☐ ハロン ☐ 粉 末・ ☐ I G 55・ ☐ I G 541・ ☐ 窒 素・ ☐ H F C 227・ ☐ H F C 23		
保 守 管 理	☐ 非該当 ・ ☐ 自家 ・ ☐ 委託 ・ ☐ その他		
設 置 室	構造 壁 (☐ 耐 火・ ☐ 準耐火・ ☐ 不 燃) 天 井 (☐ 耐 火・ ☐ 準耐火・ ☐ 不 燃) 開口部 (☐ 防火戸・ ☐ 特定防火設備である防火戸) 換 気 { ☐ 自然換気 (☐ F D 付き) ☐ 機械換気 (ダクト ☐ F D 付き ・ ☐ 耐火被覆) } ケーブル等の貫通部 (☐ B C J 工法・ ☐ 不燃区画・ ☐ その他 _____) 面積 _____ m ²		
電 気 方 式	☐ 1 回線受電 ・ ☐ 本線予備線 ・ ☐ ループ受電 ・ ☐ スポットネットワーク		
機 器 種 別	☐ 油入変圧器 ・ ☐ 乾式モルト [※] 式変圧器 ・ ☐ ガス絶縁式変圧器 ☐ その他の乾式等変圧器 ・ ☐ 油・乾混在変圧器 ☐ 油入主体変電設備 ・ ☐ 乾式主体変電設備 ・ ☐ その他の変電設備		
設 備 概 要	受電用遮断器の種類 ☐ V C B・ ☐ O C B・ ☐ A C B・ ☐ L B S・ ☐ P F・ ☐ その他 _____ 主変圧器容量 3 φ 3 W _____ k V A 1 φ 3 W _____ k V A 3 φ 3 W _____ k V A 1 φ 3 W _____ k V A 3 φ 3 W _____ k V A 1 φ 3 W _____ k V A 3 φ 3 W _____ k V A 1 φ 3 W _____ k V A 進相コンデンサの種類 ☐ 油入・ ☐ 油入密封方式・ ☐ 乾式・ ☐ モルト [※] ・ ☐ ガス絶縁・ ☐ その他 _____ 進相コンデンサの容量 3 φ 3 W _____ k V a r × _____ 台 進相コンデンサの容量 3 φ 3 W _____ k V a r × _____ 台 リアクトルの種類 ☐ 油入・ ☐ 油入密封方式・ ☐ 乾式・ ☐ モルト [※] ・ ☐ ガス絶縁・ ☐ その他 _____ V C T ☐ 油入・ ☐ 乾式・ ☐ モルト [※] ・ ☐ ガス絶縁・ ☐ その他 _____ 制御用蓄電池の消防庁告示適合の該否 ☐ 該・ ☐ 否 保護協調に関する説明書貼付 ☐ 有・ ☐ 無		
耐 震 措 置	耐震クラス ☐ S・ ☐ A・ ☐ B アンカーボルト _____ φ × _____ 本		
中 央 監 視 室	☐ 設置有 ・ ☐ 設置無		
そ の 他	非常電源の認定番号 _____ 製造者名 _____		

備考 1 項目□欄は、該当するものを✓印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。

2 良否欄は、記入しないこと。

3 条例第 1 1 条の区画ごとに作成すること。

蓄電池設備概要表

項 目		良	否
設 備 種 別	☐ 100V未満の蓄電池 ・ ☐ 100V以上の蓄電池		
工 事 種 別	☐ 新設 ・ ☐ 増設 ・ ☐ 移設 ・ ☐ その他 ()		
設 置 場 所 (階)	☐ _____階 (地下階はBを付けて入力) ・ ☐ 屋上 ・ ☐ 屋外		
電 圧	_____V		
出 力 (設 備 容 量)	_____kWh		
キュービクル該当	☐ キュービクル該当 ・ ☐ キュービクル非該当 (☐ 開放式 ・ ☐ エンクロージャー)		
非 常 電 源 該 否	☐ 非常電源該当 ・ ☐ 非常電源非該当		
消 火 設 備	☐ 消火器 ・ ☐ 大型消火器 ・ ☐ スプリンクラー ・ ☐ 水噴霧 ・ ☐ CO ₂ ・ ☐ ハロン ☐ 粉 末 ・ ☐ IG55 ・ ☐ IG541 ・ ☐ 窒 素 ・ ☐ HFC227 ・ ☐ HFC23		
保 守 管 理	☐ 非該当 ・ ☐ 自家 ・ ☐ 委託 ・ ☐ その他		
設 置 室	構造 壁 (☐ 耐 火 ・ ☐ 準耐火 ・ ☐ 不 燃) 天 井 (☐ 耐 火 ・ ☐ 準耐火 ・ ☐ 不 燃) 開口部 (☐ 防火戸 ・ ☐ 特定防火設備である防火戸) 換 気 { ☐ 自然換気 (☐ FD付き) ☐ 機械換気 (ダクト ☐ FD付き ・ ☐ 耐火被覆) } ケーブル等の貫通部 (☐ BCJ工法 ・ ☐ 不燃区画 ・ ☐ その他 _____) 面積 _____m ²		
電 気 方 式	☐ 変電操作用 ・ ☐ 発電起動用 ・ ☐ 防災設備用 ・ ☐ 無停電電源用 ☐ その他の蓄電池 ・ ☐ UPS方式 (総合操作盤用) ・ ☐ その他 _____		
機 器 種 別	☐ 鉛ベント形 ・ ☐ 鉛封入触媒栓式 ・ ☐ 鉛封入陰極吸収式 ☐ アルカリ封入触媒栓式 ・ ☐ アルカリ封入陰極吸収式 ☐ リチウムイオン蓄電池 ・ ☐ その他の蓄電池		
耐 震 措 置	耐震クラス ☐ S ・ ☐ A ・ ☐ B アンカーボルト _____φ × _____本		
そ の 他	非常電源の認定番号 _____ 製造者名 _____		

備考1 項目□欄は、該当するものを✓印で、アンダーライン部分には該当する内容を記入すること。

2 良否欄は、記入しないこと。

3 条例第13条の区画ごとに作成すること。